



NetApp Consoleのインストール

NetApp Console local deployment

NetApp
August 10, 2026

目次

NetApp Consoleのインストール	1
vCenterでOVAを使用してNetApp Consoleのローカルデプロイをインストールします	1
NetApp Consoleのローカル デプロイのインストール準備	1
VCenter環境にNetApp Consoleローカルデプロイメントをインストールする	1

NetApp Consoleのインストール

vCenterでOVAを使用してNetApp Consoleのローカルデプロイをインストールします

OVAを使用して、vCenterにNetApp Consoleのローカルデプロイメントをインストールします。OVAのダウンロードまたはURLは、NetApp Support Siteから入手できます。

NetApp Consoleのローカル デプロイのインストール準備

インストール前に、VM ホストが要件を満たしていること、および NetApp Console のローカル展開がインターネットおよび対象ネットワークにアクセスできることを確認してください。NetApp Backup and Recoveryなどの NetApp データサービスを使用するには、NetApp Console のローカル展開がお客様に代わって操作を実行できるよう、クラウド プロバイダの認証情報を作成してください。

NetApp Console ローカル展開ホスト要件の確認

NetApp Console ローカル展開をインストールする前に、ホストマシンがインストール要件を満たしていることを確認してください。

- CPU：16コアまたは16 vCPU
- RAM：64 GB
- ディスク容量：596 GB（シックプロビジョニングを推奨）
- vSphere 7.0u3以降、仮想ハードウェアバージョン19以降



NetApp Console のローカル展開は、ESXi ホスト上に直接インストールするのではなく、vCenter 環境にインストールしてください。

NetApp Console ローカル展開のネットワーク アクセスを設定する

NetApp Consoleのローカル展開では、サービス間通信に固定アドレス空間が使用されます。内部ネットワークには、IPアドレス範囲10.42.0.0/16と10.43.0.0/16が使用されます。Console のローカル展開を展開する前に、これらのIPアドレス範囲が、Console のローカル展開で使用可能なVLAN上の他のVM、DHCPスコープ、DNSレコード、またはロードバランサーのVIPプールに割り当てられていないことを確認してください。

エージェントのインターフェースのIPアドレスを変更する方法については、ナレッジベースの記事「Agent IP conflict with existing network」を参照してください。

VCenter環境にNetApp Consoleローカルデプロイメントをインストールする

NetApp は、NetApp Console のローカル デプロイメントを vCenter 環境にインストールすることをサポートしています。OVA ファイルには、VMware 環境にデプロイできる事前設定済みの VM イメージが含まれています。

OVAをダウンロードするか、**URL**をコピーします。

OVAをダウンロードします。

1. NetApp Support Site から Console ローカル展開ソフトウェアをダウンロードしてください。

VCenter に NetApp Console のローカル展開を行います。

コンソールのローカル デプロイメントを展開するには、VCenter 環境にログインしてください。

手順

1. 環境によっては、自己署名証明書を信頼済み証明書にアップロードする必要があります。インストール後、この証明書を置き換えることができます。
2. コンテンツライブラリまたはローカルシステムからOVAを展開します。

ローカルシステムから	コンテンツライブラリより
a. 右クリックして「OVF テンプレートの展開...」を選択します。 b. URL から OVA ファイルを選択するか、ファイルの場所を参照して選択し、「次へ」を選択します。	a. コンテンツライブラリに移動し、コンソール OVA を選択します。 b. 「アクション」 > 「このテンプレートから新しい VM を作成」を選択します。

3. Console をデプロイするには、OVF テンプレートのデプロイ ウィザードを完了してください。
4. VMの名前とフォルダを選択し、*次へ*を選択します。
5. コンピューティング リソースを選択し、*次へ*を選択します。
6. テンプレートの詳細を確認し、*次へ*を選択します。
7. ライセンス契約に同意し、*次へ*を選択します。
8. 使用するプロキシ設定の種類を選択してください：明示的プロキシ、透過的プロキシ、またはプロキシなし。
9. VMをデプロイするデータストアを選択し、*Next*を選択します。ホストの要件を満たしていることを確認してください。
10. VMを接続するネットワークを選択し、*次へ*を選択します。ネットワークがIPv4であり、必要なエンドポイントへのアウトバウンドインターネットアクセスがあることを確認します。
11. 「テンプレートのカスタマイズ」ウィンドウで、以下の項目を入力してください：
 - プロキシ サーバ情報
 - 明示的なプロキシを選択した場合は、プロキシ サーバのホスト名またはIPアドレスとポート番号、およびユーザー名とパスワードを入力してください。
 - 透過型プロキシを選択した場合は、該当する証明書をアップロードしてください。
 - 仮想マシンの構成
 - 設定チェックをスキップ：このチェックボックスはデフォルトではオフになっています。つまり、NetApp Console のローカル展開では、ネットワーク アクセスを検証するための構成チェックが実行されます。
 - NetApp では、このボックスのチェックを外したままにしておくことをお勧めします。そうすることで、インストール時に NetApp Console ローカル展開の構成チェックが実行されます。構成チェックは、NetApp Console のローカル展開が必要なエンドポイントへのネットワークアクセスを持っているかどうかを検証します。接続の問題によりデプロイが失敗した場合は、NetApp Console ローカル展開ホストから検証レポートとログにアクセスできます。場合によっては、NetApp Console のローカル展開がネットワーク アクセスを持っていることが確実であれば、チェックをスキップすることもできます。

- メンテナンスパスワード：`maint`ユーザーのパスワードを設定します。このユーザーは NetApp Console ローカルデプロイメントメンテナンスコンソールへのアクセスを許可されています。
- **NTP** サーバ：時刻同期に使用する NTP サーバを 1 つ以上指定します。
- ホスト名：この仮想マシンのホスト名を設定します。検索ドメインを含めないでください。たとえば、FQDN が console10.searchdomain.company.com の場合は、console10 と入力してください。
- プライマリ**DNS**：名前解決に使用するプライマリ DNS サーバを指定します。
- セカンダリ **DNS**：名前解決に使用するセカンダリ DNS サーバを指定します。
- 検索ドメイン：ホスト名を解決する際に使用する検索ドメイン名を指定します。例えば、FQDN が console10.searchdomain.company.com の場合、searchdomain.company.com と入力します。
- **IPv4**アドレス：ホスト名にマッピングされるIPアドレス。
- **IPv4**サブネットマスク：IPv4アドレスのサブネットマスク。
- **IPv4**ゲートウェイアドレス：IPv4アドレスのゲートウェイアドレス。

12. 「次へ」を選択します。

13. 「完了の準備」ウィンドウで詳細を確認し、「完了」を選択します。

vSphere タスクバーには、NetApp Console のローカル展開が配備される際の進行状況が表示されます。

14. VMの電源をオンにします。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。